

篠崎将 里山ある記 きつね山

「きつね山」は、萬福寺の東側にある伊藤家の屋敷林です。林の中には、幹周りが3mを超えるシイ、ケヤキ、スギの巨木があり、夏でも鬱蒼としてエアコンいらずの空間です。また、周囲が1mを超えるツバキの巨木もあり、冬には花をつけています。この林は、森林ボランティアの方々の協力により整備され、現在は遊歩道が設けられて、散策できるようになっています。また、柏市のカシニワ制度に登録され、どなたでも、いつでも訪れることが出来る、オープンガーデンとなっています。

低木で珍しい木としては、緑の葉の中心に白い花を咲かせるハナイカダや、春に出る新しい葉がピロードのように厚い毛で覆われたシロダモ、新芽から葉になった時は三つに裂けた葉形で赤色をしているアカメガシワは、後に葉が赤から緑色に変わるだけでなく、成木では裂け目が無くなったり、長い葉形(不分裂葉)に変わったりする珍しい木です。

保護種になっている野草としては、キンラン(環境省、千葉県)、ギンラン(千葉県)、ジュウニヒトエ(千葉県)の3種があります。キンラン、ギンランは林内の複数の場所で群生しています。ジュウニヒトエは今年の春、日当りのよい東側斜面で46株を数えました。また今年初めてナンバンギセルが観察されました。これはススキやミョウガに寄生する植物で、葉は無く、7~8cmの花柄を立てて1個の花をつけます。生きものでは、は虫類のアオダイショウ、ヤマカガシ、カナヘビ、ニホントカゲ(すべて千葉県保護種)を観察することが出来ます。この他、トンボやチョウ、セミなども多く、子どもたちにとって絶好の観察場所です。



キンラン

ギンラン

ふる協からのお知らせ

平成27年1月~4月 ガーディングセミナー開講
平成27年1月25日(日) 新春囲碁将棋大会
平成27年3月1日(日) 芸能発表大会
※詳細は、回覧、チラシ等でお知らせします。

自分の体は自分で守る 健康づくり推進員「健康講座」

平成26年10月8日「特定健診結果を活用しよう」をテーマに健康講座を開きました。柏保健所地域健康づくり課上田由佳利さんを講師に迎えて、増尾近隣センターで行い、45名が参加し熱心に聞き入りました。健康診断書の見方が良く分からないと持参している方もいました。

柏市民健康づくり推進員 川城 恵子

サロンつちのこで ハロウィーンパーティー

多世代交流コミュニティ「サロンつちのこ」では、平成26年10月11日に、地域の方々の協力を得て、ハロウィーンパーティーを開催しました。衣装はサロンで準備していましたが、自宅から仮装してきた子もたくさんいました。小学生や乳幼児とお母さんら約200名が参加、50名ほどのグループに分かれて近所のお宅を回り、お菓子をいただきました。



サロンつちのこ 渡會 のり子

地区社協部ボランティアグループ 増尾ジェンヌの会のお知らせ

平成26年10月22日に開催した「秋の苔玉講座」には25名が参加。「花を楽しむ教室」主宰、山口まり先生の指導で苔玉を作り、大好評でした。次回をお楽しみに。

◆会員募集中。月1回程度の活動です。一緒にアロマセラピーを楽しみませんか。

お問い合わせ 日暮 (TEL 7175-4812)

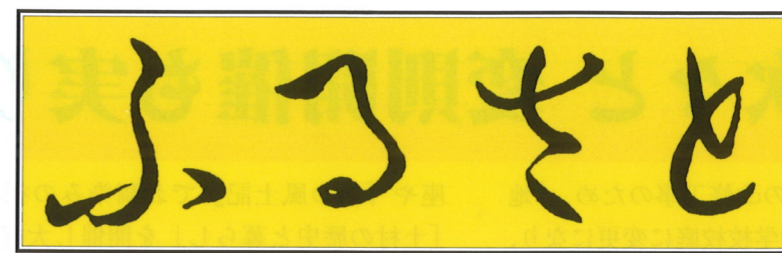
ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2または第4金曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをして下さる方を募集中。

地区社協部 吉川(TEL 7176-3631)まで、お問い合わせ下さい。



ますお



吉田 稔 筆

みんな元気 住んで良かった この地域

平成27年 1月 No.112

●編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211
http://masuo80@live.jp



コブハクチョウ(手賀沼)

あけましておめでとうございます

増尾地域ふるさと協議会 会長 幸喜 源松

当ふる協は、17団体の町会と自治会のご支援を頂き、敬老のつどいや地域ふれあいのつどい、多世代交流コミュニティ「サロンつちのこ」、防災対策他種々の施策を展開しています。

今後は、高齢化や社会情勢の変化などにより、住民の

町・自治会への加入率は低下傾向をたどり、慢性的な役員の担い手不足が進むと予測されます。そんな中、安全で安心して暮らせる地域づくりのために、重点目標を定めて活動していきます。①人材や資金面の要素で町・自治会独自で成しえない事業計画、②長寿社会における高齢者パワーの活用と町・自治会の老人会育成、③自主防災組織の強化と増尾地域避難所の円滑な運営の三つです。

今年も、地域の皆様のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

増尾東映第二自治会

私たちの自治会は136世帯、約350人の会員で構成されています。

ふるさと会館では12のサークル活動をはじめ、さまざまなイベントが行われており、秋深まる11月には恒例の親睦旅行と作品展が実施されます。

平成26年11月16日に実施した旅行のテーマは「スカイツリーに昇ろう」。子供11名を含む老若男女総勢65名が参加し、快晴の中、楽しい遠足気分の一と時でした。自治会では、災害集団避難訓練を

行っていますが、住民の一体感を醸成するためには、この旅も効果的な企画です。

作品展は平成26年11月7、8、9日の3日間行われました。版画、絵画、写真、書、短歌、折り紙、手芸、陶芸、人形作りなど日頃のサークル活動の成果が展示されましたが、中にはプロ並みの作品もあります。今回は子ども会からの出展があり、内容に広がりが出てきました。

会長 榎 豊和



秋の行事次々と 変則開催も実り多く

平成26年度は増尾近隣センターの改修工事のため、「地域ふれあいのつどい」の会場が、土中学校校庭に変更になり、毎年同時開催している「文化祭」とも分離する形となりました。

「地域ふれあいのつどい」は、午前中の雨の影響もあり、来場者がやや減少しました。しかし会場の変更によって、多くの土中生が、準備から片付けまで活躍してくれました。また、「文化祭」では、ちぎり絵など四つの趣味講

座や『柏の風土記』でお馴染みの相原正義先生の講演会「土村の歴史と暮らし」を開催し大好評を得ました。

「敬老のつどい」は、会場を土中学校に変更して4年目、すっかり定着し、参加者は573名に上りました。

各行事で中高生の生き生きと活動する姿が見られ、また新企画もあり内容が充実したことは、今後の活動を方向付ける、重要な判断材料となりました。

総務広報部 嶋田由紀江 吉尾薫子



誘い合わせてにこやかに、会場へ (9/14敬老のつどい)



土中に響く、柏南高生の歌声 (11/9地域ふれあいのつどい)



音楽物語「んぎつね」は土中の田嶋勉教頭先生が作曲演出 (敬老のつどい)



柏南高校イラスト部制作の立看板が新鮮!! (文化祭)



牛乳パックのびっくり箱は参加した子どもに大好評 (11/1・2文化祭)



土中生の協力でぬかるんだ会場もきれいに (地域ふれあいのつどい)

We Love Kashiwa 60th Anniversary

人気上昇 男の料理

健康づくり推進員は、平成26年9月3日増尾近隣センター調理室で、柏市保健所栄養士指導のもと「男性の料理教室」を開催しました。今回のテーマは“夏野菜をおいしく食べて残暑を元気に乗り切ろう”。献立は、ナス、ズッキーニ、パプリカ、トマトの缶詰など多彩な野菜が盛りだくさんの夏カレーとラッキョウ酢を使ったピクルス風甘酢漬け。15名が参加し、腕前を競いました。ピクルス風甘酢漬けはとて好評で、「すぐに作ってみよう」と担当班がうれしくなる感想が聞こえてきました。

柏市民健康づくり推進員 三根 美喜子

平成26年10月28日、地区社協部主催の「男の料理教室」を増尾近隣センター調理室で開催。この教室は毎年評判がよく、定員15名がすぐにいっぱい。参加者の中には、「週に1度くらいは、妻に料理を作ってやりたい」という人もいました。

今回の献立は、肉ジャガ、野菜のごま和え、ホウレンソウのみそ汁、ご飯。5人ずつ3班に分かれて講師の説明もそこそこに調理開始。肉ジャガは、自分に合った味付けを見つけて得意メニューに加えていただければ、うれしい限りです。

地区社協部 原田 武保

四つの防災訓練

松野台自治会

平成26年9月7日午後、震度6強の地震発生を想定した防災訓練を実施しました。

地震発生時、身の安全が確保出来た家庭は、玄関先に黄色いハンカチを掲げることを決めてあるため、各班長が巡回して確認。その結果をふるさと会館に設置した災害対策本部へ報告します。今回は、火災、家屋倒壊、負傷者の被害発生も想定し、班長が本部へ状況を連絡、防災隊員が現場に出動する救出救護訓練を行いました。

災害発生時には、自分の身は自分で守る自助、次に近所同士で助け合う近助が大切です。今後も継続して訓練を行っていきます。次回は平成27年3月15日の予定です。

松野台自治会自主防災会本部長 塚本 平二

木戸前町会

平成26年9月7日に75歳以上の方を対象に高齢者避難訓練を実施しました。正午に地震が発生したと想定して、避難を開始。野外テントに避難する予定でしたが、雨のため集会所に変更しました。14名が参加し、近所の方の顔を確認しました。今回の訓練で気づいたのは、おにぎり作りは意外に多くの人手を要すること。今後は少ない人数で簡単に早く出来る料理を検討していきます。

避難訓練は町会員の方々が顔を合わせて、意思の疎通を図る良い機会ですから、毎年行っていく予定です。

木戸前町会会長 國分 功

第一住宅増尾団地自治会

平成26年11月16日、9時30分に地震発生を想定して避難訓練を実施しました。330名の参加者は、地域ごとに決められた47か所の一時避難場所に集合してから、避難所の柏南高校に避難。非常食の試食、非常倉庫の見学、防災用品の販売を行い、11時に無事終了しました。

防災規定の見直し後、初めての訓練として、一時避難場所、避難所、避難経路の確認が出来、有意義な訓練になりました。第一住宅増尾団地自治会会長 伊藤 主夫

増尾町会

増尾自主防災会は、平成26年11月23日に、会員、組長、班長を対象に「防災訓練・研修」を開催し、55名が参加しました。地区内の防災倉庫が設置されている4会場で、午前9時より第1ステージを開始。各倉庫では、管理者より防災倉庫の管理体制や備蓄品の名称と使用目的の説

明があり、さらに、見て・触れて・感じてのエンジン式発電機の操作方法、アルミ製折り畳みリヤカーの組み立て、実際に担架を広げケガ人に見立てた人を乗せて2人、4人で運ぶ実習体験などを行いました。

第2ステージは、増尾ふるさと会館に場所を移動し、事務局から自主防災会について研修を受けました。

増尾町会副会長 高萩 郁勇

健康教室でリラックス

平成26年9月28日、増尾近隣センター体育室で文化体育部主催「健康教室」を開きました。午前中にヨガ、午後は太極拳を行い、それぞれに40名が参加しました。

石原由紀子先生指導によるヨガ教室では、普段伸ばさない体の部分を少しずつほぐしていきました。フィギュアスケートの羽生結弦選手がソチ五輪で金メダルを取った時の曲『パリの散歩道』に合わせて楽しく体を動かし、すっかりリラックスしました。

豊島要子先生を講師に迎えた太極拳は、体をゆっくりと動かしバランスを取ります。腕の動きに合わせて、足を1歩ずつ前に出す動きは、頭も使いながらの全身運動。

どちらもケガをしにくい体を作るための運動です。時間がある時に、体をほぐしてみたいはいかがでしょうか。

文化体育部 大森 由美子

56名に受講修了証 救急救命講習会

多くの人にAEDの取り扱いを覚えていただくために行っている救急救命講習会。今年度2回目を平成26年10月19日に地域の中高生を対象に行い、中学生18名、保護者1名が受講しました。3回目の11月23日は、12歳から78歳と幅広い世代の方11名が参加しました。前回、体調が悪く参加出来なかった中学生も参加し、三世代交流の場となりました。東部消防署の救急隊員に指導をしていただき、受講後、「今からあなたは、バイスタンダーです」の言葉と講習修了証を手渡されました。

今年度、3回実施した講習会の受講者は、56名になりました。 防犯防災部 間宮 節子

受賞おめでとうございます

柏市市制施行60周年記念市政功労者として、ふる協活動に10年以上携わってこられた下記の方々が表彰されました。おめでとうございます。木村宏可、小林みつえ、山野辺操、湯上弘子 (五十音順、敬称略)